



山形・白鷹農産加工研究会より 「ほんとうにおいしい」は畑や田んぼの健康にある！

寒餅のお届け

「白鷹農産加工研究会」が発足したのは1981年。地元高校の定時制課の漬物を引き継ぎ、こだわり食材農産物の生産と加工を重ねてきました。環境を守り、次世代の健康を育むことは、生産者の使命だと思うからです！

「ほんとうにおいしい」が畑や田んぼの健康にある事をお届けできればと考えています。

数ある商品の中から餅の紹介をいたしま〜す！

最上川の上流に位置する山形県置賜地区の、きれいな水と空気の中で育てた、こだわりの低農薬米（初期除草剤1回）を使用し、もちの含む水分量を極力減らし、コシが強く、粘りのある餅につきました。

今週、私たちの大好きな仲間、志おなじくする常総さんで餅の特集をしてくれました。



白鷹の鈴木さんと奥山さん

ぜひ召し上がってください！

コシの強〜い『白餅』

スタッフのみなさん

香ばしさとつぶつぶ感の『玄米餅』

山形県置賜伝統食の『味噌餅』

豆の食感と香りがたまらない『豆入り白餅』

どれもこだわり抜いた一品と自負しています。

トースターやホットプレートでこんがり焼いて、お召し上がり下さい。魚グリルでもOKです。

（白鷹農産加工研究会 奥山）

【2017年1月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
1. 14（土）じょうそう朝市（本部前） 1. 15（日）つくばめいち 1. 17（火）茨城県による監査 1. 25（水）第9回 定例理事会 1. 27-28（土日）常総生協業者会総会＆合宿	1. 13-14（金・土）生協ネットワーク21 経営トップ会議 1. 21（土）とみせ幼稚園みそ作り支援 1. 26（木）東海第二原発運転差止訴訟第16回弁論期日

手作りみそ用素材
3月1日まで掲載の予定です

手作りみそ用に八郷で契約栽培。生産者は飯塚光一さん。品種はタチナガハ、初期除草剤1回使用。

飯塚さん（茨城県・石岡市）
大豆（八郷産契約栽培）

442 1kg 650円（税702円）
443 2kg 1100円（税1188円）1404円（税）

大豆（茨城県）

茨城県コシヒカリ100%。塩こうじ作りや甘酒作りに。すぐ使わないときは塩をまけて（塩きり）おいて下さい。賞味期限を10日位のはげます。

青届いて15日前後
やまこみそ（茨城県・守谷市）

米こうじ

444 300g 370円（税400円）
445 1kg 880円（税950円）

米（茨城県）

やまこみそ（茨城県・守谷市）

446 麦こうじ

米こうじより蛋白質が多く、麦みそ特有の香気の母体。旨味が濃厚な赤系みそ用に最適。

青届14日

1kg 680円（税734円）
大麦（国内産）

青い海（沖縄県・糸満市）
512 沖縄の塩「シマムス」

毎週買える！

原塩を沖縄の海水で溶解し、平釜で煮詰めて作る再結晶法の塩です。製法：溶解、平釜

1kg 240円（税259円）
海水（沖縄県） 天日塩（オーストラリア・メキシコ）

白鷹のお餅

香ばしさと
つぶつぶ感の
『玄米餅』

12

14

豆の食感と香りがたまらない
『豆入り白餅』

11

コシの強〜い『白餅』

13

山形県置賜伝統食の『味噌餅』

味噌餅は、砂糖と味噌を弱火で1時間ほど煮詰め、白餅に練りこんでつきあげました。ゴマは無農薬です。甘くて味噌味なので焼いてそのままお召し上がり下さい。幼いころは冬のおやつは味噌餅でした。

シリーズ【今週の仲間づくり】

組織担当理事 矢島 裕也

1月から組織担当矢島理事が「常総生協のあたらしい仲間」の紹介や仲間づくりの様子についてのコラムがスタートします。

○千葉・野田地区で 30 名の 新しい仲間が加わりました！

昨年 11 月より配送を始めた野田地区ですが、1 月現在 32 名の新しい仲間が加わりました！

組合員からご紹介や情報を寄せていただき本当にありがとうございました！野田での行商も好評でした♪

今期は総勢 303 名の仲間が新たに加わりましたので、あらためて今が最盛期の手前味噌作りを通して「食」の良さ、発酵食品の力を職員一同地域へ発信してゆきたいと思います。

○「行商」してま〜す！

新柏の香辛飯屋店長さん、篠田さんと「店舗前での行商」について打ち合わせをしてきました！

千葉の組合員から「知り合いのカレー屋さんの前で行商してもいいよ！と言ってきてるよ！」と聞いて伺ってきました。

とってもイケメン！&素晴らしい考えを持つ方でした。
(写真載せちゃいました)



～「香辛飯屋」篠田さんの想い～

- 場所を上手に活用してほしい
- 地域と繋がることをしたい
- 現在の世の中に溢れる食の在り方を考え直すきっかけを作りたい（食の安全性をお客様や地域の方に知ってもらいたい）



遊食カレー「香辛飯店」
千葉県柏市新柏 4-9-8

2月と3月の第3土曜日に店舗前で、行商で野菜の販売を予定しています。ご近所の方はお友達と一緒に買い物ごた遊びに来て下さい。お店でのお食事也大歓迎だと思います！

【組合員より寄稿】「福島原発事故避難者支援・茨城の会」を立ち上げて

「福島原発事故避難者支援・茨城の会」を立ち上げて

土浦市 小張 佐恵子

住宅支援が打ち切られ、追い出されようとしている自主避難者の方々への支援を話し合う会を開催し、「福島原発事故避難者支援・茨城の会」を立ち上げました。

きっかけは、**昨年の10月**。3人の子ともと住んでいるAさんから相談を受けたことからでした。

避難を理由に離婚して母子家庭となったAさんは「やっと落ち着いて毎日を過ごしている現在の生活を守りたい」と。特に、いじめ問題が話題になる中、中学校を卒業するまで転校させたくないというのが切実な希望でした。経済的にももちろん厳しい状況の様子で、福島県による住宅支援が打ち切られることでどうしたらよいか困っていました。

12月1日、仲間と「福島原発事故避難者支援・茨城の会」を立ち上げ、今後の運動について話し合いました。受け入れ自治体からの支援体制をとって頂こうとつくば市長に面談を申し入れすることとなりました。

12月23日には、これまで福島の子もたちの保養受け入れの活動を続けてきた「福島応援プロジェクト茨城」で、クリスマス会を開催して福島からの避難者家族をを招待しました。

そこではみなさんから避難の時の状況や、事故長後からの家族の体調悪化、甲状腺の疾患の発生とそれへの対応・・・等々、食



福島からの避難者家族と共にクリスマス会

事しながらゆっくりお話を聞くことができました。

その**翌日24日**、これらの家族に福島県庁から文書が届いた。

その要旨は「これまで借り上げ住宅として提供してきたが、来年3月をもって打ち切る。転居が無理な場合は当該公務員住宅に住み続けることは認めるが、期限は2年、家賃は支払うこと」という内容。

もともと避難区域の「線引き」は恣意的で、その線から1mでも外れれば避難区域外とされ、賠償金もわずかで、住宅の無償提供が終わってしまうと生活が成り立たない世帯が多い。

「支援の会」を立ち上げましたが、いざ動き出してみると 避難者と自主避難者の間の軋轢や、避難者受け入れ先の地域住民との軋轢、福島県に残った人々と避難者の間の溝など、難しい問題が多々あることが見えてきます。またあちこちの支援の会で問題になっているのが、個人情報保護条例のせいなのか避難者と連絡が取れないということがあります。

12月26日、つくば市長さんとの面談がかない、自主避難者24世帯のうち、7世帯しか連絡がとれていないことをお話しすると、市役所の方で把握している避難者に「支援の会」から手紙を届けられるようにはからってくれました。避難者の状況を伝え、「つくば市独自の支援体制を模索して頂きたい」とお願いしました。早速「お手紙」をつくって、「この地域で連絡をとりあってゆきましよう」という呼びかけを年内に発送しました。



つくば市長との面談

しかし、まだ返事がありません。知らない土地に避難してもう6年も避難生活を続

け、新たな仕事に就いているかもしれませんし、自力で仮設住宅を出る覚悟を決められたのか、移転先が確保できているのか・・・私たちに知る術はありません。

12月のつくば市議会では「原発事故避難者の住宅支援延長について緊急な対応を求める意見書」請願が出されて賛成多数で成立しました。

日本全国から福島県には、住宅無償提供延長を求める意見書が出されています。しかし福島県は、国の承認を盾に、これらの声を無視して計画を強行しようとしているようです。

国や県が、線量が毎時20マイクロシーベルトと高くても、福島に人を戻そうとしていることは、とりもなおさず原発事故や放射能汚染、そして何より住民被害を「なかった」ものにしようという動きのひとつだと思います。明日は我が身かもしれません。簡単

に切り捨てられてしまいます。

たとえつくば市で5世帯6世帯だけであつても、福島から避難し困っておられる方がいれば、共に地域に住む私たちに何かできることを、小さなことでも支援していきたいと思えます。

つくば市で積極的な支援体制がとられることになれば、茨城県の他の市町村に波及する力も持つことでしょう。

1月15日には福島応援プロジェクト茨城の「ともいきの郷」で今後の対応について話し合いを持つ予定です。

常総生協の中でも各地で、こうした動きがありましたら連携をとりあえたらと思います。身近に福島からの避難者がいらっしやればお声かけもしながらできることをいっしょに考えていけたらと思います。

(2017年1月4日)

1/26 東海第2原発運転差止訴訟第16回口頭弁論へ参加を！

「二度と福島をくりかえしてはならない」・・・そんな思いで私たち常総生協の組合員・生産者も原告となって提訴した東海第2原発差止住民訴訟は1/26、第16回目の弁論を迎えます。

20年運転延長申請を断念させよう！

東海第2原発は来年11月で40年を迎えます。その1年前までの今年8月～11月の間に「20年延長申請」を出して運転延長をしようとしています。

これに対し、原告住民側は1月から「老朽化原発の危険性」についての主張を集中的におこない、法廷からも再稼働&運転期間延長をやめさせるように頑張ります。

周辺住民の8割が「老朽原発の運転は危険」

1/26の期日では、弁護士さんによる主張の前に、冒頭原告住民より、原電説明会での質問数のトップが「老朽化問題」であること、

そして茨城大学による30km圏内4市町の住民アンケートで、83%の住民が「老朽化した原発を使い続けるのは危険」と考えているという結果を裁判長に訴え、この法廷でしっかり審理することを求めます。

日本一機器故障が多い東海第2原発

また、1970年代に稼働した原発は東海第2を除いてすべて廃止措置になっていること、日本原電の原発、特に東海第2原発が日本一機器故障率の高い原発であることなどを統計データにもとづいて主張します。

原告住民の主張に続いて弁護士より原子炉内の機器にたくさんの「ひび割れ」があり、極めて危険な状態になっていることを主張します。

また、高線量の「放射性廃棄物」の山がそのままになっている福島の現実を示し、被害の実態の実態を感じるためにあらためて裁判官が福島の現地を検証することを求めます。

組合員と生産者と職員の広場

○天池さんのポップコーンの素、スゴイ美味しかった！

添付されてたレシピのキャラメルコーンを年末にきた孫に出したところ大ウケ。もし在庫あれば欲しいなあ。または次の企画はいつですか？

(取手市 池嶋さん)

ご意見ありがとうございます。

申し訳ありません。今シーズン出荷可能分は無くなってしまいました。また来シーズン必ず企画したいとします。宜しくお願い致します。

(商品部 井上)

○定番になりそう♪



新鮮なごまめの田作りがおいしくできて、定番になりそうです。御屠蘇酒、みりんだけと違ってすっきりしたおいしさ。今年もよろしく。

(取手市 片岡さん)

○提案です。

無農薬野菜、省農薬野菜がこんなに安い！（実感ですが。こないことがあるのでそれが難点）ここに焦点を絞って何週間～何ヶ月キャンペーンを張ってはどうか。イラスト・マンガ多用で極力字を少なく。場合によっては同じチラシに少しの変化。意外と読まない人は読まないで終わっている気がします。（一般的に。例えば町内会の回覧など、そうみたいです。）何週間も忙しくてみてない→今週はやっとキャンペーンのチラシが目にとまり、読めたということはあるように思います。余計なことかも知れませんがチラシに欠品、遅配があることも書いておいた方がよいと思います。

(龍ヶ崎 矢野さん)

○岩瀬牧場の様子

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。”岩瀬牧場”の様子を詳しくお知らせくださり、本当にありがとうございました。一組合員ですが、何かできることがありましたら、お伝えください。安心安全な食べ物をつくっていくことのご苦労、困難さがわかりました。今まで、何も考えず注文していたことが申し訳なく思えました。

(石岡市 吉井さん)

○生産者の苦勞

「岩瀬さんの豚肉のお休み」についてを読んで、改めて”いのち”を頂くということは大変なことが多く、岩瀬さんたちの苦勞が分りました。ありがたく食べなければと再認識しました。応援しております。

(つくば市 名雪さん)

○みそ講習会はデモンストレーションを見るだけでいいですか？

自分の分を作って持ち帰ることは出来ますか？みなで作ると楽しいので、自分の分も皆で作れるといいですね。

(守谷市 池場さん)

ご意見ありがとうございます。

今回のみそ講習会はデモンストレーションのみの講習会となります。理事会、職員間でもみそ講習会のあり方をどうしていくかをこの間討議してきました。1番は「手作りみそ人口を増やし、大豆の地域自給運動をしていく事」という事になりました。その為の経験、確認する場として講習会を利用させていただきたい

と思います。



みそ講習会PR動画配信

ちなみに、みそ講習会を盛り上げようと、職員でPR動画を作成しています。常総生協 facebook でUPされています。ご覧いただくと嬉しいです。※左のQRコードから読み取りも可能です。

(専務理事 伊藤)

○「三浦大根」すばらしい大根です！！



1月6日に配達されたあ木村さんの三浦系大根葉洗うと表面も白く美しく、おいしく素晴らしい大根でした。みとれました。最高です。有難う

ございました。一口伝えたくて。暮れの三浦系大根は残念ながら少し傷みがありましたが、天候、病虫有害もあるし表面からは分からないし仕方ないと思いましたが、1/6 配達の大根はうっとりみとれました。有難うございました。

(松戸市 寺澤さん)

～2017年新たにスタートしました～

①ホームページでの情報更新。

今迄はお知らせをするためにチラシを作成しての配布でしたが、今後ホームページにも掲載していくようにします。「情報は鮮度が命」少しでも早く組合員さんにお知らせしていける様に取り組んでいきます。

②ネット注文者向けのメールマガジン配信（週に1回配信）

ネット注文登録している組合員さん限定で配信しています。基本的に紙でお知らせしている内容と同様ですが、生産者からの動画や、リアルタイムで配信できるようになりました。もちろん希望の有無は随時お知らせしていきますので、不要の場合はお知らせください。生産者と、組合員がつながりやすくなれるような媒体にしていきたいと考えています。

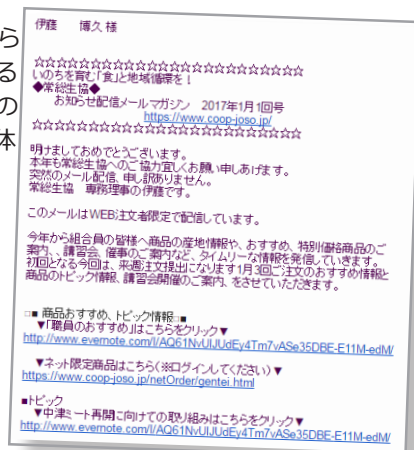
※登録希望の方はホームページからご登録ください。

【現在の配信内容】

- ・商品トピック情報
- ・イベント情報

【今後配信予定を考えている事】

- ・生産者からの動画メッセージ（facebookでも閲覧可能）
- ・岩瀬牧場へ出向している職員による養豚日記（ホームページでも閲覧可能）
- ・カタログ掲載レシピ調理動画



募集!!

行商仲間づくり（展示即売会）のお知らせ!!

行商仲間づくりとは…



生協の軽自動車に商品を積んで、皆さんのお宅の近所に車を止めさせていただき商品の販売をします。生協の商品をお買いものしながらワイワイとご近所さんや近くの組合員とお話し、常総生協の素材・商品のアピールします。

有機の野菜、肉、乳製品、加工品などなど、その場で手にとって購入できます!

- ・「常総生協はどんな商品を扱っているの?」「実際に食べてみたいな〜」声にお応えしまして、軽のバンでおうちの前まで伺います!
- ・火曜と金曜の週2回、ご近所を訪問します!

★「わが家に来てほしい!」方は下記までお気軽にご連絡ください。お待ちしております!



～常総生協を広めよう～

- **食はいのち**：食べ物は毎日の健康と将来のカラダをつくる素です。だから、無農薬の農産物や食品添加物不使用の食品を中心に扱います!
- **地産地消**：地域の生産者とのつながりを大切にします!
- **生産者と消費者が共に学びます**：講習会や産地見学を通してお互いの理解を深めます!

場所の提供、販売協力にご協力いただける方は、生協にお電話下さい。もしくは供給担当者にお申し付け下さい。ホームページからも受け付けています。